

11月は、先月に引き続き、物語の学習をしていきます。登場人物の行動に注目して「心情」「性格」を読み取っていくことは5年生になってからも使う考え方です。しっかりと取り組んでいきましょう。

どの単元も文章を読み解くうえでの基本となる大切な知識です。テキストの「読む★ナビ」も活用して、それぞれの単元についてしっかり理解して文章を読む時に役立てられるようにしていきましょう。

また『読む』『書く』ツールでは「ことわざ」「慣用句」「四字熟語」の入試でも頻出する言葉の知識と、文章・会話の表現に着目する「話し言葉と書き言葉」について学習していきます。言葉のしくみや使い方をしっかりと理解しておきましょう。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業を受講した後で取り組んでください。

「学び直し①」の文章題と「読む」「書く」ツールの問題を中心に、授業で学んだことを確かめて取り組むようにしましょう。問題を解くだけでなく、マル付けとまちがい直しもしっかりとしましょう。

◆第10回 物語 登場人物の行動と心情①／ことわざ

今回は人物の行動を手がかりにして心情を読み取っていくことについて学習していきます。

出来事に応じて、何らかの心情を抱き、行動を起こす、という一連の流れを意識して文章を読んでいくことが基本となります。問題では行動を手がかりに心情を考えることも多いので、ていねいに読み進めていきましょう。また、テキストの巻末に「心情語」に関するページがあります。

また、『読む』『書く』ツールでは「ことわざ」について学びます。ことわざは、言葉の形・使い方、意味をしっかり結びつけて覚えておくことが大切です。また反対の意味、似た意味のことわざを確かめておくことも学習には効果的です。知らない言葉は辞書を使って調べてみるようにしましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 …… 1・2

「読む」「書く」ツール…… 下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②…… 1・2

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう…… ①・②

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「シナジー」

◆第11回 物語 登場人物の行動と心情②／慣用句

前回に引き続き、登場人物の行動と心情を読み取ることに取り組みます。今回は心情語を手がかりにしながらか、「心情の変化」を出来事の変化と結びつけて読み取っていきましょう。

また、『読む』『書く』ツール』では「慣用句」について学びます。「慣用句」は「ことわざ」と同様に、言葉の形・使い方、意味をしっかりと覚えるように取り組みましょう。また、意味を知らない言葉があればきちんと調べていくようにしましょう。辞書では、たとえば「顔」と引いて、その後の小項目に慣用句が整理されている場合が多いので、調べる時には気をつけてください。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 …… 1・2

「読む」「書く」ツール…… 下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②…… 1～3

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう…… ①・②

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十一回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第12回 物語 登場人物の性格①／四字熟語

今回は「性格」に注目して文章を読んでいきます。性格とは「その人がどんな人か（人物像）」を示す言葉です。物語を読む際に「性格」に注目すれば、その人がなぜそのような行動をしたのかなどを理解しやすくなります。逆に「その人らしくない」行動なども見えてくるので、より深く文章内容を読み取ることができます。また、テキストの巻末に「人物像を表す言葉」に関するページがあります。

また、『読む』『書く』ツール』では「四字熟語」について学びます。「四字熟語」は、言葉の意味はもちろん、四字熟語の読みや書きなども問題として出題されやすいので、ていねいに覚えるようにしましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 …… 1～3

「読む」「書く」ツール…… 下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②…… 1・2の問題

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう…… ①・②

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十二回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第13回 物語 登場人物の性格②／話し言葉と書き言葉

前回に引き続き、「性格」について取り組みます。今回は文章中の手がかりとして人物の行動や心情に注目しながら、どんな性格なのか考えてみるようにして文章を読み進めていきましょう。

また、『読む』『書く』ツールでは「話し言葉と書き言葉」を学習します。話し言葉は会話文、書き言葉は新聞や論文などで主に用いられていますが、それぞれどんな時に使うと良いのか、テキストの説明をもとに考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……●できごとと心情を確認しよう、●登場人物の性格をとらえようの1・2
「読む」「書く」ツール……・

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の……1・2

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……・

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十三回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「シナジー」

第9回・10回では「速さ」を、第11～13回では「文章題」を学習します。「速さ」では、速さの定義やグラフの読み取り方、かき方を学んでください。また、「文章題」では線分図や表・面積図からわかることをしっかりと理解し、式にあらわしましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第10回 速さ～速さと進行グラフ～

進行グラフは、人(モノ)が時間とともに、どのように移動したかがわかる優れた道具です。その読み取りはもちろんのこと、かき方も学んでいきましょう。直線のグラフは第8回で学習した「比例のグラフ」と深い関わりがあることを示しています。6年生になると、速さを比例・反比例の関係で解く問題も多くなりますので、関連づけて考えるという視点を忘れずにとりくみましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①② 知識技術 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{6}$ 思考技法 $\boxed{1}$, $\boxed{2}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{3}$

学び直し③・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 $\boxed{3}$, $\boxed{5}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{5}$, $\boxed{6}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{4}$, $\boxed{6}$

◆第11回 文章題～線分図の活用①～

第11回からは文章題がテーマの回が続きます。文章題とまとめられていますが、それぞれの問題でのアプローチの仕方が少し異なっているので、注意しながら取り組みましょう。第11回・12回は「線分図」を利用して取り組みます。線分図を横へつなげると「和」の関係が、たてにならべてかくと「差」の関係が明らかになります。どこに着目すればよいかを考えながら、まずは線分図をかくチャレンジを試みましょう。スタートはそこからです。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{5}$ 思考技法 $\boxed{1}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$

学び直し③・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 $\boxed{2}$, $\boxed{3}$

栄冠への道・・・学び直し③⁴, ⁵

ひとりで問題と向きあうための準備³

◆第12回 文章題～線分図の活用②～

今回はまず、「～倍」の関係について学習しました。「10倍」とかいてあるから、「10個分」かくのは大変ですね。そのため、¹⁰と表して10倍を意味します。表記にも注意しながら取り組んでいきましょう。また、「1あたりの差」が集まることで全体の差につながることも学習しました。しかし、大切なことは「等しいところをさがすこと」。「同じ～」というところに注意しながら学習をすすめていこう。まずは、栄冠への道「思い起こし²」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び¹～⁴、知識技術¹～⁵ 思考技法¹

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・¹, ², ³, ⁴

学び直し③・・・¹, ², ³

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法², ⁵

栄冠への道・・・学び直し③⁴, ⁵

ひとりで問題と向きあうための準備⁴, ⁵, ⁶

◆第13回 文章題～つるかめ算～

「よくわからないなあ」と感じたら、まずは「極端な場合から考え始める」という発想は、算数では非常に大切なことです。極端な場合と、問題文に書かれていることと、どこがちがうのだろう？一方を少し変えると、どうなるだろう？と思考を広げていくことはとても大切なことです。発想を大切にがんばっていきましょう。また、そこから発展した表での解法や、面積図による解法もおさえておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし²」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び¹②③、知識技術¹～³ 思考技法¹

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・¹, ²

学び直し③・・・¹, ²

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法², ³

栄冠への道・・・学び直し③³, ⁴

ひとりで問題と向きあうための準備⁵, ⁶

日に日に秋も深まり、遠くの山々も澄みきった青空に映える季節となりました。そろそろこたつが恋しくなってきたのではないのでしょうか。11月の理科では「満ち欠けする月」「豆電球の明るさ」について学習します。朝夕冷え込む季節ですが、健康には十分気をつけて、楽しく学習しましょう。

◆第6回 満ち欠けする月

毎日見ていると、月の形が少しずつ変わっていることに気づきます。月の形の変化の規則とその原因について考えてみよう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・月の満ち欠けの原因と満ち欠けの仕方を理解しよう。
 - ・代表的な月の形と名前を覚えよう。
 - ・月の動き（月の出、南中、月の入り）を理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」：オプション探究
 - ・「栄冠への道」：学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第7回 豆電球の明るさ

かん電池や豆電球を使って電気の性質や働きについて考えてみよう。また、電流の強さを調べた実験の結果を整理し、筋道立てて考えてみよう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・かん電池に豆電球をつなぐと光る原理を理解しよう。
 - ・電流計の使い方と読み取り方を覚えよう。
 - ・かん電池・豆電球・スイッチの記号を覚えて、かんたんな回路図が書けるようになろう。
 - ・豆電球やかん電池を直列つなぎにしたときに流れる電流の大きさの関係を理解しよう。
 - ・豆電球やかん電池をへい列つなぎにしたときに流れる電流の大きさの関係を理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」：オプション探究
 - ・「栄冠への道」：学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第6回 関東平野をうるおす利根川

「学びのとびら」を読んでおきましょう。その上でweb 教室を視聴しましょう。

①では、利根川が越後山脈から流れ出し、太平洋へと注ぐことを学習します。利根川は群馬県と埼玉県、茨城県と千葉県の県境になっています。上流の嬭恋村と下流の銚子では気候のようすにちがいがあっても雨温図から確認しておきましょう。

②では、利根川の上流部と下流部の農業を学習します。上流部（嬭恋村）では、夏にすずしい気候を利用した、キャベツの栽培が、下流部では、台風の影響をうけた早場米の栽培がさかんです。

③では、関東平野がどのように発展してきたのかを学習します。利根川は江戸時代に洪水対策として太平洋に注ぐように付け替えられました。地図で確認しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

◆第7回 海とともに生きる三陸地方

「学びのとびら」を読んでおきましょう。その上でweb 教室を視聴しましょう。

①では、三陸地方の地形の特色を学習します。リアス海岸であることと津波に弱いという特色を覚えておきましょう。

②では、三陸地方で漁業がさかんな理由や三陸海岸の交通を学習します。とくに三陸海岸の漁業については様々なテストに必出の知識です。確実に覚えておきましょう。

③では、三陸地方の気候を学習します。やませと冷害も様々なテストに必出の知識です。確実に覚えておきましょう。

【これもおさえておこう！】

オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)